

液肥の使い方

●鉢（直径20cm）での使用例

- 1回あたり約20g（ペットボトルのキャップ3杯）を水500mLに薄めて、水やりの代わりに散布します。
- 1週間に1回散布します。



●家庭菜園（露地）での使用例

- 液肥をそのままか、水で2倍に薄めて、じょうろ等で株元にまきます。
- その後は10日おきなど、苗の状態をみながら追加でまいてください。

※散布方法は目安として記載しています。
植物の状態をみながら、散布の量や頻度をご自身で調節してください。



【留意事項】

葉物に液肥がかかると跡が残ります

- 液肥には色がついています。収穫する葉野菜や、花などに液肥がかかると、跡が残ることがあります。
- 液肥をまくときは直接かけないように注意し、株元に散布するようにしてください。



カブの葉に残った液肥の跡

液肥には固形分も少しあります

- 液肥には少し固形分も含まれています。
- じょうろでまく場合は、ハスの実（じょうろの先）を外してください。ハスの実が詰まるおそれがあります。
- 固形分は少量ですが、堆肥のように、後から効果のある緩効性肥料として期待できます。



じょうろのハスの実を外して散布するようす